

(仮称)小牧市こども未来館ワークショップ 実施報告

平成29年11月2日(木)に、第1回有識者ワークショップを開催しました。

学校教育、社会教育や母子保健など、様々な分野で活躍されている方々にお集まりいただき、「こどもに関する面白いと思った施設や取組み」、「こどもを取りまく環境や施設の課題」について、意見交換やディスカッションを行い、各分野の専門的見地からの貴重なご意見、ご提案を多くいただきました。

有識者の皆様には、引き続き全4回ワークショップを実施する予定ですが、第2回では、先に行われた保護者および中高生ワークショップでの意見や、今回いただいた意見や提案を踏まえて、施設整備にあたっての根幹となる基本コンセプトを基に、整備する機能等についてより具体的にしていきたいと考えています。

1. 開催日程について

◆第1回有識者ワークショップ◆

日時：平成29年11月2日(木)
午後6時～8時

場所：小牧市役所 本庁舎3階 301会議室

参加者：下記のとおり(敬称略・順不同)

- 玉置 崇(岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授)
- 小谷 博子(東京未来大学 こども心理学部 准教授)
- 長江 美津子(名古屋経済大学 教育保育学科 特任教授)
- 豊田 洋一(中部大学 工学部 建築学科 教授)
- 出口 さとみ(春日井保健所 健康支援課 課長補佐)
- 小松 尚(名古屋大学大学院 環境学研究科 准教授)
- 佐藤 将之(早稲田大学 人間科学学術院 准教授)
- 石原 邦彦(愛知県児童総合センター センター長)
- 坂廻辺 範子(味噌児童館サポーター代表)

概要説明の様子



2. 意見交換・ディスカッションについて

テーマについて自由に意見交換およびディスカッションを行いました。

- ・【テーマ】「こどもに関する面白いと思った施設や取組み」
「こどもを取りまく環境や施設の課題」
- ・ディスカッションでの主な意見は下記のとおりです。

- 子どもを見守る大人の居場所も大切にしてほしい。
- 経済的理由などで塾に行けない環境にある子ども達への支援などの付加価値があるといい。
- 若者が“集う”ことが健全な場所であるといい。
- 地域とこどもとの関係性が、この施設を通じてどう繋がっていくか考えていく必要がある。
- 駅前やスーパー併設という立地を活用し、母親がリフレッシュできる一時預り室ができるといい。
- 子育てに忙しく、自発的に情報を得ることが難しい母親が、ここに来れば簡単に得られる場所になるといい。
- 遊具なども「小牧山」や「信長」などをイメージしたデザインにし、遊びながら、小牧の歴史や文化に触れられるといい。
- 施設から帰る子ども達が「こうなりたい。あんなことをしてみたい。」などの夢を語れる施設となるといい。
- 施設に愛着をもってもらい、人が人を呼ぶしくみをつくることでリピーター獲得が可能になる。
- 今の多様な社会(外国人や、発達障害など様々な人がいる)を理解できる場所となると社会教育として意義深い。
- 設備に頼らず、こだわりの遊びで親子で楽しんでもらうことを丁寧に実施することで、親子のリピーターを多く生む。ソフト面を充実させていくことが重要。